

①

成人式事業

【生涯学習課】

資料

外部評価実施日：平成29年8月1日（火）

成人式事業

生涯学習課

1 事業概要（A票）

◆事業の名称

成人式事業

◆事業の開始の背景、経緯等

昭和57年度以前～

2 事業の実施体制（A票）

◆組織体制、人員

新成人を主体とした実行委員会形式

- ・主体として企画運営：新成人10名程度
- ・アドバイザー：市社会教育委員
- ・事務局：市職員
課長、課長補佐、係長、担当主事 各1名

3(1) 事業目的等（A票）

◆事業内容（どのような事業なのか）

新成人を主体とした実行委員会が、開催の準備から当日の運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙げる。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会（アトラクション）を開催する。

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

原則、市内在住・在学・在勤の新成人

3(2) 事業目的等 (A票)

◆事業意図 (対象をどのような状態にしたいか)

新成人の手作りの成人式を開催することで、地域での仲間づくりや成人としての自覚を持つ。

◆事業を構成する事務事業 (B票)

① 成人式事業

②

③

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】 (B票)

◆事業を構成する事務事業

成人式事業

◆目的 (対象・手段、意図)

市内在住・在学・在勤の新成人に対し、新成人により実行委員会を設置し、開催の準備をして、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会 (アトラクション) を開催する。
新成人の手作りの成人式を開催することで、地域での仲間づくりや成人としての自覚を持つ。

◆事務事業の活動状況

毎年成人の日に開催。

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】 (B票)

◆前年度からの改善状況

新成人の人数が増加しており、会場が満席になる。新成人のための成人式であるため、新成人の入場を最優先し開式10分前までに入場を終え、席に余裕があった時のみ保護者入場可とした。保護者には整理券を配布し、各家庭1名のみ観覧可と対応した。実行委員手作りの案内はがきにもその旨を記載した。

◆事務事業の評価

会場に入りきれない保護者は何名かいたが、あらかじめ案内はがきにて周知を行っていたため、大きな混乱は避けられた。会場に入れなかった保護者は、ホワイエのテレビで式の様子を見られるようにした。

4 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業①】 (B票)

◆アピールポイント

実行委員主体の当日のアトラクション①実行委員手作りのパネル前で撮影する『クラス写真撮影』②他市にはない『新成人から新成人へのインタビュー』が楽しく、参加する新成人はもちろん実行委員にとって思い出に残る式になった。

◆ウイークポイント

保護者席120席に対し約150人があつまり、会場に入りきれない保護者がいた。

◆今後の方向性

改善・見直し

◆事務事業の評価に対するコメント

今後、新成人の参加対象人数が増えた場合はまず、保護者の観覧席をなくし、それでも席数が不足する場合は会場や日時を別にするなど、実行委員と話し合いながら決めていく。

5 コスト（A票）

◆平成28年度事業費

84万円

◆平成28年度人件費

1,22万2千円

◆事業費の主な内訳

・成人式司会者 報償金
・会場設営 委託
・消耗品費
アトラクション準備・茶話会・記念品
・印刷製本費
次第・案内はがき
・食糧費
実行委員会茶代・茶話会

6 事業の成果【成果指標①】 （A票）

◆事業の成果指標

新成人の参加率

◆事業の成果目標

75%

◆事業の成果実績

66.1%

◆成果指標、目標等の設定理由

実行委員会形式で新成人が主体的に企画、運営を行い、また成人式への参加を呼びかけ、参加率75%を目標とする。目標根拠：昨年度実績

7 環境変化（A票）

◆近隣市町の取組状況や事業を取り巻く環境変化

SNSを利用し、当日や準備のボランティア参加の呼びかけを行ったが、効果はあまり感じられず。また、実行委員同士のやりとりも原則メールやLINEで行っていたが、発言する者が限られるため実際に合って話し合う機会を作るよう促す必要がある。

8 事業の評価（A票）

◆事業の目標達成状況

平成25年度から目標とする参加率を75%としている。平成25・26年度は69%、平成27・28年度は66%に減少している。

◆事務事業全体を見た課題

- ・ 実行委員の立候補が少ない
- ・ 保護者席を確保するか否か

9 事業の今後（A票）

◆事業の今後の方向性

引き続き、新成人による手作りの成人式を開催する。

◆事業の中長期の目標

実行委員と話し合いながら、保護者席をなくして対応する時期を検討する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	26	—	事業名	成人式事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	2	青少年健全育成体制の充実	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1	社会教育総務費
		政策分類	—		大事業	4	成人式事業
	その他(関係法令、要綱等)						
事業開始の背景、経緯等		昭和57年度以前～					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 新成人を主体とした実行委員会が、開催の準備から当日の運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙げる。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会(アトラクション)を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 原則、市内在住・在学・在勤の新成人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域で仲間づくりや成人としての自覚を持つ。					
	事業を構成する事務事業	① 成人式事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			1,251	1,258
決算						1,089	840	
人件費(B)	千円	決算			1,452	1,222		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			2,541	2,062		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 新成人の参加率	%	目標	75	75	75	75	75
			実績	69.3	69.5	66.1	66.1	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 実行委員会形式で新成人が主体的に企画、運営を行い、また成人式への参加を呼びかけ、参加率75%を目標とする。目標根拠: 昨年度実績								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、日進市、北名古屋市、みよし市でも実行委員会形式で実施
------	-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成25年度から目標とする参加率を75%としている。平成25・26年度は69%、平成27・28年度は66%に減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) ・新成人の立候補が少なく実行委員を集めるのが困難 ・保護者席を確保するか否か。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き、新成人による手作りの成人式を開催する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 実行委員と話し合いながら、保護者席をなくして対応する時期を検討する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		成人式事業										
番号	①	事務事業名	成人式事業		款	9	項	4	目	1	大	4	中	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		昭和57年度以前～		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内在住・在学・在勤の新成人に対し、新成人により実行委員会を設置し、開催の準備をして、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会（アトラクション）を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地域で仲間づくりや成人としての自覚を持つ。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			1,251	1,258	1,264
		決算			1,089	840	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
新成人の参加者数	人	目標	374	464	463	492	467
		実績	345	430	408	434	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

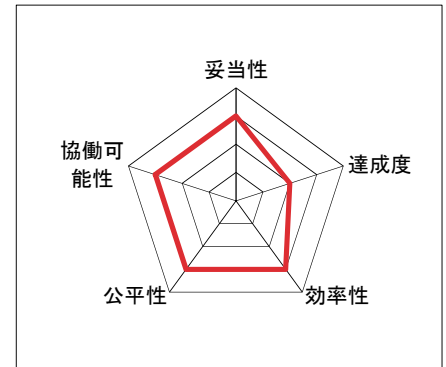
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
SNSを利用し、当日や準備のボランティア参加の呼びかけを行ったが、効果はあまり感じられず。また、実行委員同士のやりとりも原則メールやLINEで行っていたが、発言する者が限られるため実際に合って話し合う機会を作るよう促す必要がある。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
新成人の人数が増加しており、会場が満席になる。
(何をどのような状態に改善したのか)
新成人のための成人式であるため、新成人の入場を最優先し開式10分前までに入場を終え、席に余裕があった時のみ保護者入場可とした。整理券を配布し、各家庭1名のみ観覧可とし対応した。実行委員会手作りの案内はがきにもその旨を記載した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
実行委員主体の当日のアトラクション①実行委員手作りのパネル前で撮影する『クラス写真撮影』②他市にはない『新成人から新成人へのインタビュー』が楽しく、参加する新成人はもちろん実行委員にとって思い出に残る式になった。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
保護者席120席に対し約150人があつまり、会場に入りきれない保護者がいた。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後、新成人の参加対象人数が増えた場合はまず、保護者の観覧席をなくし、それでも席数が不足する場合は会場や日時を別にするなど、実行委員と話し合いながら決めていく。